

平成 23 年 7 月 20 日

報道各位

【速報】 ガールスカウト日本連盟前会長 和田照子氏 ガールスカウト世界連盟理事に就任！

7 月 14 日、和田照子氏がガールガイド・ガールスカウト世界連盟（世界 145 カ国、会員数約 1,000 万人）の第 34 回世界会議において、世界連盟理事選挙に当選しました。日本からは 33 年ぶり、2 人目の当選となります。和田氏は、平日は（社）日本経団連で政策提言活動などの仕事をこなし、週末には少女と若い女性のための社会教育であるガールスカウト活動にボランティアとして活躍しています。さらに和田氏は今後、世界連盟理事として、より良い世界を作るために世界 1,000 万人のガールスカウトを牽引していきます。



和田 照子（わだ てるこ）

1969 年長野県生まれ。1982 年にガールスカウトに入団。

1995 年、東京大学大学院法学政治学研究科民刑事法専攻（修士）修了。同年、（社）経済団体連合会（現、日本経済団体連合会）事務局入局。2002 年フルブライト留学生として米国ジョージタウン大学ローセンター（LL.M.）に留学。2003 年に修了し、2004 年まで IMF（国際通貨基金）法務局にインターン勤務。2004 年にニューヨーク州弁護士資格を取得した後、経団連事務局に復職。

ガールスカウトでは、2009 年にガールスカウト日本連盟会長に最年少（当時 39 歳）で就任。2 年間の任期を終え、2011 年には世界連盟理事選挙に立候補し、初当選を果たす。

●第 34 回世界会議の概要

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟（世界連盟）は、2011 年 7 月 11 日から 16 日までガールスカウト運動発祥の地、英国で第 34 回世界会議を開催しました。世界 122 カ国の代表・関係者 500 人が出席し、ガールガイド・ガールスカウト運動を通して女性たちの生き方を変えてきた 100 年を祝うとともに、次の“100 年”に向け、少女と若い女性が力をつけ、よりよい社会のためにもたらすべき変化について話し合いました。

●世界連盟理事の役割・責任

世界連盟の使命と目的を実現するための戦略的計画の策定と実施が世界連盟理事の責務です。そして、世界連盟理事はガールスカウトを代表して国連や他団体の会議に参加し、声明を発表するなど社会に影響を与える役割も担います。また、少女や若い女性に関連する問題を解決するため、世界 145 カ国はもちろん、ガールスカウト運動がない国でもこの運動を広げることで、少女と若い女性の取り巻く環境を変える為、専門職員と共にその具体的方策を検討し、実施していきます。今期の世界連盟理事は 12 名、12 カ国で構成される事となりました。

●世界連盟の今後の取り組み

少女や若い女性のための世界最大の運動であるガールスカウトは、現在、2015 年までに国連ミレニアム開発目標を達成すべく、それぞれの国と地域で活動しています。更に 2011 年からは世界的に「少女に対する暴力をなくすキャンペーン」に取り組んでまいります。

■本件に関するお問い合わせ：（社）ガールスカウト日本連盟（担当：伊藤）
TEL：03-3460-0701 E-mail：kouhou027037@girlscout.or.jp